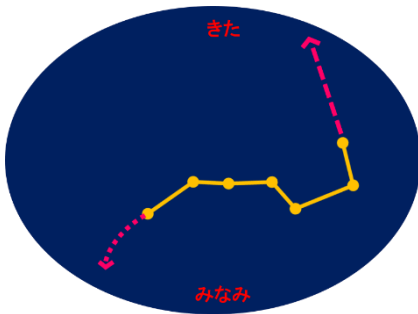




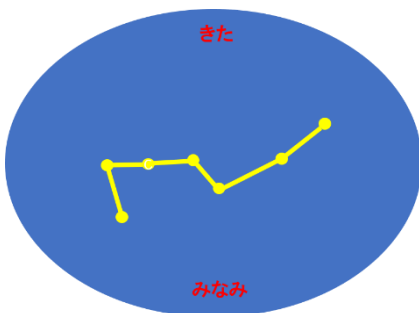
## ほくとしせい 北斗七星で北をさがせる!?

『北斗七星（ほくとしせい）』とよばれるスプーンのような、ひしゃくの形に並んだ7つの星があります。おおぐま座の星のおしりからしっぽの部分にあたり、実際の空で見ても大きく目立ちます。おおぐまのしっぽの線を南へぐーんと伸ばしていくと、うしかい座やおとめ座の1等星



を見つけることができます。おしりがわにある2つの星を線で結んだ長さを北へ5倍伸ばしていくと、北極星を探すことができます。北斗七星はとてもべんり。古代エジプト人も北の方位を知るために北斗七星を使っていたそうです。長い間、伝わって現在の私たちも使っています。これからも子どもたちや孫た

ちの世代に伝わっていくことでしょう。でも、ずーっとさきまで使えるとは限りません。星座を形づくっている恒星たちは、『固有（こゆう）運動』と言って、それぞれがいろいろな方向へ動いています。地球から見ると恒星はとてとても遠い距離に位置しているので、数百年くらいでは、地球から見てもその位置はほとんど変わらないように見えます。もっと長い年月、何万年、何十万年もたつと、恒星の位置は大きく変わっていきます。ということは……何万年後の私たちの子孫が地球から星座を眺めると、すっかり形が変わってしまっていることがあります。



北斗七星のある、おおぐま座はどうでしょうか？  
例えば、10万年も時が経つと、北斗七星のひしゃくの向きが逆を向いてしまいます。かぎしっぽのおおぐま座になって形が変わってしまいます。未来の人類は今とは別の星座や星並びを使って、北の方位を見つけていることでしょう。